

楽しく学んでみませんか？

# むきばんだ やよい塾

2016年度 第17期 受講生募集！



妻木晩田遺跡は、全国最大規模の弥生遺跡。しかも、山の上の大規模集落という珍しい遺跡。四隅突出型墳丘墓という山陰特有のお墓が密集する遺跡。そんなすご〜い遺跡が、どうしてこの地に営まれたのか、気になりませんか？

「むきばんだやよい塾」は、妻木晩田遺跡のことをもっと知りたい皆さんのための講座です。妻木晩田遺跡を知るためには、山陰各地、列島各地の弥生遺跡のことも知っておきたい。弥生時代だけでなく、その前後の時代も知っておきたい。考古学だけでなく、『古事記』や『日本書紀』、『出雲国風土記』などの文献から紐解く山陰像も知っておきたい。そんな欲張りな講座です。難しそう？いえいえ、大丈夫です。学界の第一線で活躍されている講師の先生方が、初心者にもわかり易く、楽しくお話していただきます。太古の昔を一緒に探検してみませんか？今まで考古学・古代史に興味のなかった方も、人歓迎です。どうぞ、ご参加ください。

主 催：むきばんだ応援団

# むきばんだやよい塾

【日 時】 月1回、第1土曜日の午後2～4時

★都合により、会場・日程・演題が変わる場合もあります。受講生には、毎回ご案内の葉書をお出しします。

【会 場】 本の学校2F 多目的ホール

鳥取県米子市新開2丁目3番10号 Tel.0859-31-5001 米子産業体育館向かい

【受講料】

一 般：年間12,000円と通信費624円（中途入塾につきましては事務局に相談下さい）

1回のみ 1,500円（とくに事前の手続きはいりません。当日、直接会場にお越しください）

応援団員：1回1,000円でご希望の講座を受講していただけます（応援団年会費2000円）。

【定 員】 一 般 60名（定員になり次第、締め切ります）

【申し込み方法】 住所・氏名・電話番号・年齢・「やよい塾 受講希望」を明記し、  
往復葉書で下記宛て申し込んでください。

【申し込み先】 〒683-0836 鳥取県米子市花園町8-1 判沢方 むきばんだやよい塾事務局

【申し込み締め切り】 3月31日（木）必着

【問い合わせ先】 むきばんだ応援団事務局 TEL 080-1915-6664

## 《講座内容》

■4月 2日 開講式

「妻木晩田遺跡仙谷8号墓の謎」

講 師：長尾かおり氏（鳥取県むきばんだ史跡公園 文化財主事）

鳥取県むきばんだ史跡公園で実施された妻木晩田遺跡仙谷8号墓の発掘調査の成果をお話しいたします。

■5月 7日 「古墳時代の日韓関係」 講 師：柳本 照男氏（大阪大学非常勤講師）

韓国の東洋大学で教鞭をとってこられた柳本先生が定年を迎え、帰国されました。韓国での研究成果と、韓国からみた山陰の古墳文化について、お話しいたします。

■6月 4日 「私が考えた弥生（都市）論の是非」

講 師：秋山 浩三氏（大阪府立弥生文化博物館副館長）

弥生研究を精力的に推進してこられた関西の雄の一人、秋山先生の初登壇！博学で緻密、多彩な切り口と、お話し上手は大鼓判。池上曾根遺跡をはじめとする弥生集落研究から、妻木晩田遺跡はどう見えるのか、聞いてみたいですね。

■7月 2日 サハラ記念日特別公開講座 対談「歴史よもやま話」

講 師：狩野 久氏（奈良文化財研究所名誉研究員、むきばんだやよい塾塾長）

藤岡 大拙氏（NPO 法人出雲学研究所理事長）

日本古代史の重鎮・狩野先生と、出雲学の祖・藤岡先生は、京都大学のご学友。歴史を学ぶ楽しさやむずかしさ、出

雲とは？大和とは？ など、愉快な話術で定評のあるお二人にざっくばらんにお話しいたします。

■ 8月 6日 現地見学「大山寺僧房跡」 講師：杉谷 愛象氏（米子市教育委員会）他

2018年に「開山1300年」を迎える大山寺への注目度が高まっています。大山町教育委員会は2004年から大山寺の総合的な調査に取り組み、予想以上の規模の大きさに驚かされました。僧房跡地は現在も平坦地として確認できます。現地を見学し、発掘成果について解説していただきます。当日は、現地集合とします。集合の時間と場所は、後日お知らせします。

■ 9月 3日 「日本海沿岸地域の木工文化」

講師：工楽 善通氏（大阪府立狭山池博物館館長）

昨年にご登壇いただいた工楽先生のもう一つのご専門が木器研究です。先生は、大量の木器を出土した青谷上寺地遺跡指導委員でもいらっしゃいます。高度な技術が注目される日本海沿岸の木器作りの文化についてお話しいたします。

■ 10月 1日 「出雲国風土記の世界」

講師：佐古 和枝氏（関西外国語大学教授、むきぼんだ応援団副団長）

『出雲国風土記』には、『古事記』や『日本書紀』には記載されない地元の様子が詳しく書かれています。その内容と考古学を照らし合わせて考えてみると、記紀とは異なる出雲世界が見えてきそうです。

■ 11月 5日 「卑弥呼と女性首長」 講師：清家 章氏（岡山大学教授）

清家先生は、弥生時代の墓地や古墳から出土した人骨の性別と副葬品、墓の位置づけについての克明なデータ分析をもとに、弥生・古墳時代の女性の地位や役割を追究され、昨年『卑弥呼と女性首長』を上梓されました。さて、卑弥呼は、女性なのになぜ倭国の王になれたのか。日本列島では、女性でも王になっていいという土壌があったのか。楽しみです。

■ 12月 3日 「南部町普段寺古墳群の発掘成果から」

講師：高田 健一氏（鳥取大学准教授）

元鳥取県教育委員会におられた高田先生は、2010年に鳥取大学と島根大学の合同調査で、普段寺1号墳の発掘調査を実施されました。その結果、普段寺1号墳は、これまで山陰最古の前方後方墳とされてきた島根県松本1号墳（4世紀中頃）より古くなる可能性があるとの見方もできました。その発掘成果を中心に、研究成果をお話しいたします。

■ 1月 7日 「(仮) 考古学の醍醐味」 講師：深澤芳樹氏（前奈良文化財研究所副所長）

常連講師の深澤先生は、いつも当日まで講義内容は内緒です。文学や実験考古学的アプローチなど、通常の考古学の講義にはない多彩な切り口で、いつもワクワク楽しませていただいています。今回は、いったいどんなお話が飛び出すか！

■ 2月 4日 「弥生時代並行期の韓国の集落遺跡について」

講師：藤田 憲司氏（NPO 法人国際文化財研究センター）

藤田先生も、韓国暮らしに終止符をうち、帰国されました。韓国での研究成果から、弥生時代に相当する時期の朝鮮半島の集落の実態について教えていただき、妻木晩出遺跡と比較してみましょ。

■ 3月 4日 修了式記念講義「飛鳥・藤原京の遺跡を掘って」

講師：狩野 久氏（奈良文化財研究所名誉研究員、むきぼんだやよい塾塾長）

一年の締めくくりは、塾長狩野先生です。先生は文献史学（古代史）の立場から、長年、国立奈良文化財研究所（当時）で藤原宮や平城宮についての研究・指導に携わってこられました。遺跡で出土した木簡や『日本書紀』などの記述と発掘成果をつきあわせると、どんな飛鳥の景色がみえてくるのか。先生ならではの話をたっぷりお伺いしましょう。

# むきぼんだを歩く会

妻木晩田遺跡のある妻木山・晩田山は自然豊かな山であり、地域の皆さんの里山として愛されてきました。そういう妻木晩田の森の魅力を、みんなで歩いて見つけてまわり、情報発信しようというのが本会の目的です。四季折々に変化する妻木晩田の植物たちをみんなで探索してみませんか。

★ **内 容**：妻木晩田遺跡周辺の植物観察をします。また、観察した結果をまとめて毎月「むきぼんだ花だより」を発行したり、むきぼんだ史跡公園が主催するイベントで、草木染めや花カルタなどのワークショップもおこなっています（自由参加）。

★ **日 時**：「やよい塾・本科」当日の午前9時30分～12時 少雨決行！

★ **集合場所**：妻木晩田遺跡 体験学習室

県の事業によって集合場所が変更になる場合があります。毎回葉書で事前にご案内します。

★ **指 導**：鷺見 寛幸 先生（鳥取県自然観察指導員）

★ **入会金**：2000円（むきぼんだ応援団員、中学生以下は免除）

★ **会費**：資料代～毎回300円 小学生以下の子供さんを同伴される場合、子供さんは無料  
通信費（案内葉書代）～半期（6ヶ月分）300円

★ **定 員**：50名

★ **申し込み**：お電話ください。「むきぼんだを歩く会」事務局 090-7974-2359（阿部）

## むきぼんだ応援団の団員募集！

「むきぼんだ応援団」（団長 坂田友宏・鳥取県文化財保護審議委員）は、一人でも多くの方に妻木晩田遺跡の価値や魅力を伝え、大切に思っていたくために、毎月1回「むきぼんだやよい塾」や「むきぼんだを歩く会」を主催する他、適宜さまざまなイベント（講演会、シンポジウム、コンサート、子供向け体験学習など）を開催しています。むきぼんだ応援団は、団員の皆様の年会費によって維持・運営されています。趣旨にご賛同いただける方は、ぜひ団員になって応援してください。団員には、むきぼんだ応援団が主催する事業に特典がある他、「むきぼんだ通信」（不定期発行）をお届けします。

★年会費 1口 2000円（4月～翌年3月） 中途入会も同額

★振込み先 郵便振込 口座番号 01340-7-78743

名義 「むきぼんだ応援団」

★通信欄に「2017年度会費」と明記してください。